



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第611号
2023年10月9日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

学校給食費の無償化求める

学校給食費の無償化を求める声が広がっています。千葉県は、今年1月より第3子以降の子ども達の給食費を半額負担を始めました。千葉県にあわせて八千代市も、第3子以降の子ども達の給食費を半額負担することとし、実質第3子以降の子ども達の給食費は無償となりました。



日本共産党は、義務教育は無償と謳われている日本国憲法26条第2項より「第3子以降だけにとどまらず、すべての子ども達の学校給食費無償化」を求めています。

学校給食法の第11条「経費の負担」には、食材費は保護者負担とされる内容があることから、八千代市議会での答弁中でも学校給食法から無償ではないとの答弁が繰り返されていました。しかし、日本共産党は文部科学省が平成17年、18年に制定した「食育基本法」や「食育推進基本計画」。さらに学校給食における食育の推進を進めていることから、学校給食を教育の一環としているならば、無償化をするべきとも考えています。

9月議会では、学校給食費が無償となっているのはわずか15%（第3子以降約8%、就学援助約7%）の子ども達しかいないことを指摘しました。教育長は「第1子、第2子の子ども達の無償化は国や県の動向をふまえて検討」との答弁にとどまりました。今後もすべての子ども達の学校給食費の無償化を求めて奮闘していきます。

自校給食校からセンター給食校へ変更された3小学校

決算委員会で昨年度の「学校給食の残食率」を調査し指摘しました。八千代市内で最後の自校給食校であった、「大和田小」「萱田小」「新木戸小」の3校の残食率から自校給食校の良さを伝えました。

3つの自校給食校の残食率は、過去3年平均は5%以下でした。しかし、センター給食校16校の残食率は過去3年平均は14%と極めて高い事も明らかとなりました。

今回、年度途中に自校給食からセンター給食へ変更となった3校は「9.9%」「11.0%」「7.0%」と残食率が上がっています。

実際、保護者からは「子どもから給食が美味しくなくなった」と言われたとの声があります。最近のセンター給食は「様々な取り組みで美味しくなった」と言われていますが、やはり目の前で作られる自校給食と比べると限界があります。

さらに、日本共産党は「給食を食べる時間」と「残食率」の関係についても今後調査します。「美味しい給食を安全に子ども達に届ける」ために取り組んでいきます。

